

平成 27 年 11 月 12 日

消防庁における熱中症対策の取り組み

1. 救急搬送人員数調査

○ 平成 27 年度調査概要

方法：サーベイランスシステムを使って全国の消防本部から週毎に報告

*サーベイランス調査は迅速性と悉皆性を長所としており、調査項目を傷病程度別搬送人数、年齢区分別搬送人数としている。

期間：4月27日～10月4日（平成27年度調査は昨年より半月分、前倒して実施）

公表：週毎に速報値としてHP上に公表し、月毎に確定値として報道発表

○ 平成 27 年度調査の結果

- ・5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は5万5,852人。
- ・月別の救急搬送人員数は、5月2,904人、6月3,032人、7月が2万4,567人（H20年以降過去最多）、8月が2万3,925人。（資料1）
- ・7月27日から8月9日までの期間は2週連続で1万人を超え、この時期に熱中症による救急搬送人員数が集中した。9月の救急搬送人員数は1,424人で、過去最少となった。（資料2）

○ 調査データの提供

- ・関係省庁及び自治体、研究機関からの要望に応じて提供している。
*平成26年度は国立環境研究所等研究機関、行政関係者等、約70団体に提供した。

2. 予防に係る普及啓発等

○ 消防の取り組み

- ・消防庁に特設HP「熱中症情報」を開設し、熱中症搬送人員数調査結果及び熱中症対策リーフレット等の情報を入手可能にしている。（資料3）
- ・消防庁ツイッター（フォロワー数：約70万）を用いて、4月27日～10月4日（調査期間中の平日）にかけて、国民に注意を呼びかけた。（資料4）
- ・体が暑さに慣れる前の発生及び残暑による発生を予防するために、応急手当講習等の機会を活かして熱中症予防対策を強化するように促した。（5月27日、8月5日通知）
- ・熱中症予防強化月間（7月）の一環として、80万部の熱中症対策リーフレットを全国の消防機関に配布し、応急手当講習等に活用するよう促した。（6月22日通知）

○ 関係省庁との連携

- ・環境省と連携しWBGTに係る情報について、消防庁ツイッターで配信した。また、熱中症搬送人員数調査を各地のWBGTデータの観点から分析し公表した。

3. 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み

○ 救急業務のあり方に関する検討会において、実態調査等を実施し、次の点について検討

- ・多言語コミュニケーションを支援するシステムに関する調査
- ・外国人と接する機会の多い市民を対象とした応急手当普及の検討（熱中症に関する応急手当の普及啓発を含む）
- ・大規模イベント等開催時における多数傷病者発生時への備えの検討
（参考）イベント等特別な要因による救急搬送件数増加に対処した事例の調査

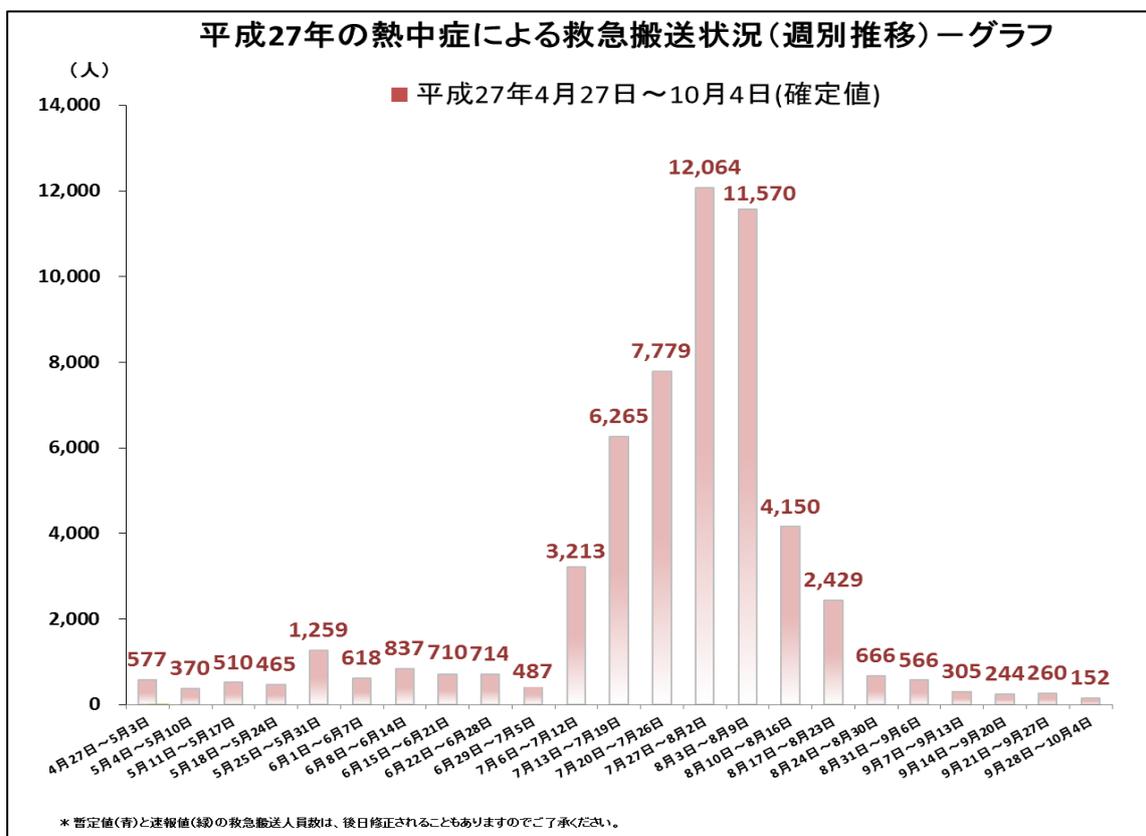
資料1 平成22年～27年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧一表
(単位：人)

		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)		平成22年(2010)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	2,904	3	調査データなし									
	6月	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14	2,276	4
	7月	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29	17,750	95
	8月	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27	28,448	62
	9月	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3	7,645	10
	搬送人員数合計	55,852	105	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73	56,119	171

※平成27年は4月27日から調査を開始

※平成26年は5月19日から調査を開始

資料2



資料3 熱中症対策リーフレット

熱中症を予防して元気な夏を！

夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。熱中症を知って、しっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう！

このリーフレットでは、熱中症の症状や応急手当を紹介しています。

救急車を呼んで、一刻も早く病院へ行くべき状態や症状についても紹介しています。当てはまる場合は、ためらわずに119番しましょう。

心臓や腎臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。

消防庁 <http://www.fdma.go.jp/>

熱中症とは？

室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

熱中症の分類と対処方法

重症度	症状	対処	医療機関への受診
軽症	めまい・立ちくらみ・こむら返り・手足のしびれ	涼しい場所へ移動・安静・水分補給	症状が改善すれば受診の必要なし 口から飲めない場合や症状の改善が見られない場合は受診が必要
	頭痛・吐き気・体がだるい・体が力が入らない・集中力や判断力の低下	涼しい場所へ移動・体を冷やす・安静・十分な水分と塩分の補給	
重症	意識障害（呼びかけに対し反応が弱い、会話がつかないなど）、けいれん・運動障害（首段通りに歩けないなど）	涼しい場所へ移動・安静・体が熱ければ保冷剤などで冷やす	ためらうことなく救急車（119）を要請

こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう

- 自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合は、ためらわずに救急車を呼んでください。
- 意識がない（おかし）、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方は、ためらわずに救急車を呼んでください。

熱中症予防のポイント

- ☺ 部屋の温度をこまめにチェック！
(首段越す部屋には温度計を置くことをお奨めします)
- ☺ 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ☺ のどが渇く前に水分補給！
- ☺ のどが渇かなくてもこまめに水分補給！
- ☺ 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- ☺ 無理をせず、適度に休憩を！
- ☺ 日頃から栄養バランスの良い食事と体カづくりを！

資料4 ツイッター（熱中症ひとこと情報）

住民とともに

フォロワー 1,905

フォロー中 2

ツイート数 602,076

お気に入り 2

総務省消防庁 @FDMA_JAPAN

大規模災害に関する情報や総務省消防庁からの報道資料等を提供します。リンク先のファイルの容量が大きいため、パソコン端末での利用をおすすめします。あらかじめガイドラインをご覧ください。災害情報・ご意見は@FDMA_JAPANまでお願いします。いただいた情報を今後の業務の参考にさせていただきます。

fdma.go.jp

2010年4月に登録

ツイート ツイートと返信 画像/動画

総務省消防庁 @FDMA_JAPAN · 4月22日

【熱中症ひとこと情報】運動会等の屋外でのイベントで小学生が体調不良を訴える事案が発生しています！！今日は東海・関西地方の一部で35℃に迫る暑さになりそうです！熱中症は予防が可能です！屋外での作業や運動時には暑さ対策を万全に！！詳しくは→bit.ly/1RYVuNd

総務省消防庁 @FDMA_JAPAN · 5月26日

【熱中症ひとこと情報】今日は東北から九州のあちらこちらで30度以上の真夏日が見込まれています。暑さに慣れていないこの時期は特に注意が必要です！暑い環境では無理をせず、適度な休憩と水分補給に気を付けて熱中症を予防しましょう！熱中症対策は→bit.ly/1RYVuNd